



古川 一美 議員

### 家族介護用品購入助成事業の変更について

**問** 今年4月に変更され利用者の不満の声を聞く。市民の立場に立った変更になっているか、経緯とメリットが市民に十分に周知されているか2つの観点から①事業の変更点と経緯、目的②変更後のメリットとデメリット③利用者への周知④今後の改善策について伺う。

**答（健康福祉部長）** ①変更点は助成券から現物支給へ、支給対

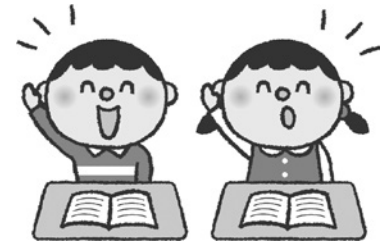
象者、支給額の基準見直しで、地域支援事業実施要綱の改正に伴うものである。②メリットは介護用品を購入に行くことが困難な老老介護世帯に用品が自宅まで届けられること等、デメリットとしては、介護用品の選択の自由がなくなった等の意見がある。③利用者とケアマネージャーには個別事業概要変更を通知した。また、説明会や広報等でも周知した。④利用者や関係者の声を聞きながら内容の見直し等を検討していきたい。

### 道徳教育について

**問** 新たに始まった「特別の教科 道徳」の時間を有効にするために、教科書で紹介されている偉人の生き方を先生が深く学ぶ

ことを提案する。先生が、奉仕の心を持って努力で道を切り開いた偉人の生き方や考え方に感動すれば、児童生徒にその精神が伝わると考えるが、所見を伺う。

**答（教育長）** 教壇に立つ者として、素材、教材に感銘を受け、自身の感動、感銘を子どもたちに伝えたいというものが根本にある。偉人等についても十分に読み込み、研究し、子どもに對峙したいと考えている。



秋庭 繁 議員

### 市民アンケートに寄せられた市民の声について

**問** 私の市民アンケートに寄せられた声は「年金の減少、医療費や公共料金の増加で暮らしが苦しくなった。」が多数だった。新庁舎、文化センター、南古河駅についても率直な意見をいただいた。また「小中学校のプール授業に中央運動公園の温水プールを利用するため、高齢者の講座が減らされている。市には、修理する予算がないのか。」という声があった。小中学校の

壊れたプールの修繕計画はどうなっているのか伺う。



壊れて放置されているプール

**答（教育部長）** 現在5校の小中学校が温水プールで授業を行っている。その期間中の講座は、別の時期に移動して実施しており、講座数は決して減少していない。

プールの維持管理については、学校の校舎や体育館等の建屋に関する施設長寿命化計画を策定中であり、プール施設についても並行して整備の方向性を検討

していきたい。

### 安心でおいしい水道水の提供について

**問** 水道水の異臭問題は今回目か。安全でおいしい水を提供するのが当然であり、そのために「高度浄水処理施設」の建設は避けられない。今後具体的な計画があるのか伺う。

**答（上下水道部長）** 水道水の異臭事故は合併前に1度、合併後は今回を含めて3度目である。

思川浄水場の高度浄水処理施設については、粒状活性炭処理施設を導入する計画だが、現施設への導入は困難なため、早急に現在の車載搭載型の粉末活性炭投入機から常設型の注入設備への更新を予定している。